

病理組織学的検査

【剖検】

ラット、マウス、モルモット、ウサギ、イヌ、サル、ミニブタなどの豊富な実施経験を有しています。

【病理標本作製】

切り出し、包埋、薄切、染色の過程で病理標本の作製を行います。実験病理組織技術認定士を有する標本作製者が多数在籍し、豊富な経験と実績によって、質の高い標本を提供しています。

【病理組織検査】

病理学的検査は日本毒性病理学会認定病理専門家、日本獣医病理学会認定病理専門家の資格を有する**Pathologist**が実施しております。豊富な経験と知識によって、質の高い評価を提供しています。

【電子顕微鏡検査（透過型、走査型）】

透過型顕微鏡による検査は、光学顕微鏡では観察が出来ない、細胞内の細胞小器官を観察するために行います。

走査型顕微鏡による検査は、試料表面を高倍率で観察するために行います。

透過型顕微鏡、走査型顕微鏡の双方所有し、検査が出来る体制と整えています。

●お問い合わせ／資料請求はこちらまで

メディフォード株式会社 www.mediford.com

【東京】〒174-0053 東京都板橋区清水町3-6-1号

非臨床事業部 tel. **03-6905-5861**



「生きていく」を明るく、前向きにする。

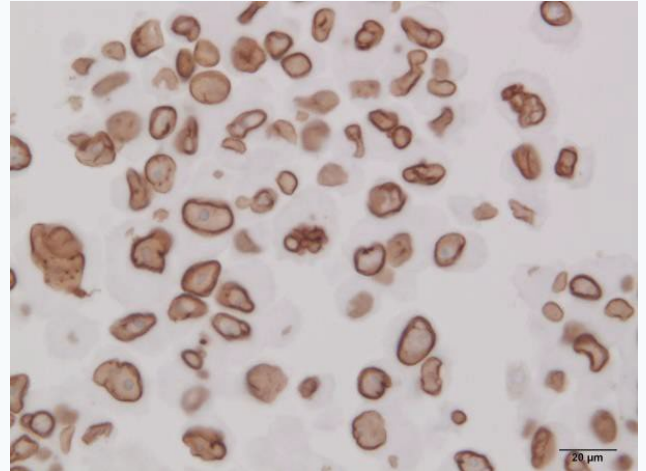
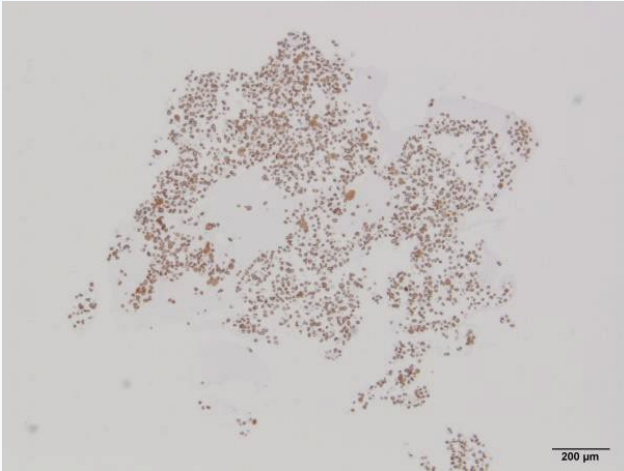


mediford
A Member of PHC Group

【免疫染色】

パラフィンブロック、凍結ブロックから染色を行います。
数多くの染色の実績・経験があります。

また、培養細胞等からセルブロック標本を作製して、
免疫染色を行うことも出来ます。



セルブロック標本（市販ヒト由来すい臓がん細胞株の培養細胞）
染色：抗ヒトラミン抗体（核が陽性を示す）、左；弱拡大像、右；強拡大像

【その他】

バーチャルスライドシステム（**Leica Aperio AT2**）を導入しており、病理組織標本をデジタル画像として取り込むことが出来ます。お客様は当社に訪問しなくとも、バーチャルスライドを活用することにより、標本をご自分のパソコンで閲覧、確認することが可能となります。

※ それぞれの過程において、個別に受託することが可能となっていますので、お気軽にご相談ください。